



富山県美術館 企画展  
瀧口修造／加納光於《海燕のセミオティック》2019  
詩人と画家の 出会い 交流 創造 関連イベント

## 加納光於氏による アーティスト・トーク開催



加納光於《海燕のセミオティック》2018年 作家蔵

1950年代から独創的な版画作品により国内外で高く評価されてきた、戦後を代表する美術家、加納光於氏。戦前から戦後にかけて美術評論の分野でも活躍した、瀧口修造氏と四半世紀にわたる創造的な交流を持ったことが知られています。常に新しい挑戦を続けてきた加納氏は、80年代以降には色彩あふれる絵画作品に力を注ぎますが、瀧口亡き後も、その眼差しを意識し続けてきたと言います。今回のトークでは、聞き手に詩人であり、瀧口研究者でもある岩崎美弥子氏を迎え、瀧口との交流について、またご自身の創作についてお話いただく予定です。

日時： 11月2日(土)11:00～(約60分)

講師： 加納光於氏

聞き手： 岩崎美弥子氏(詩人・瀧口研究)

会場： 富山県美術館 3階ホール ※会場での飲食、録音・撮影などはできませんのでご了承ください。

参加： 無料

### 加納光於

1933年、東京都生まれ。独学で銅版画の技法を学び、実験的な銅版画作品で、50年代から国内外で高い評価を得る。1954年に出会った瀧口とは、四半世紀に渡り創造的な交流を続け、詩画集『稲妻捕り Elements』、『掌中破片』を共作した。瀧口没後は、版画に加え、油彩作品の創作にも力を注いでいる。

## 富山県美術館

〒930-0806 富山県富山市木場町3-20 tel.076-431-2711 fax.076-431-2712

Toyama Prefectural Museum of Art and Design 3-20 Kiba-machi, Toyama City, Toyama, 930-0806, Japan tel. +81-76-431-2711